



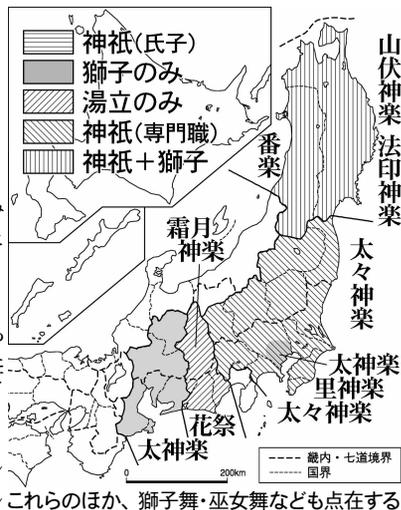
# 神楽 — かがら

広島神社伝承文化

## ④ 東日本各地の神楽

禊 山田 岳晴

神楽とよばれるものの範囲は広く、広島でみられる神祇神楽のほかに、全国的には、神楽とよばれる巫女舞、湯立舞、獅子舞などもある。前回は東日本の神楽をみていく。



北陸道(北陸)では、ほとんど神楽はみられない。京寄りの旧街道沿い(東海)では、伊勢の太神楽とその系統の神楽がみられる。正月を中心に舞台や各戸をまわる。二人立ちの獅子舞である。

京と江戸の中間の旧街道沿い(天竜川、大井川流域)では、信濃の霜月神楽、三河の花祭など、信濃と河川交通でつながる遠江、駿河、三河の一部に湯立舞がみられる。秋から冬にかけて、湯立の設備を備えた常設または仮設の神楽殿で行われる。中世伊勢で整備されたといわれ、舞いをともない、湯立て、湯祓いを繰り返す。

江戸周辺の旧街道沿い(関東および周辺域)では、太々神楽、里神楽など、各地で神祇神楽がみられる。春と秋の祭礼時に常設の神楽殿で行われる。神楽殿には腰組などで持ち出した廻縁、高欄がある。舞台の床は視線より高く、多数の観客に対応したものと考えられる。默劇の要素が強く、能楽や歌舞伎の影響もみられる。埼玉県の鷲宮神社の神楽が起源といわれる。



神楽殿の例(玉村八幡宮[群馬県])

奥州街道以北の東山道(東北)では、陸奥の法印神楽、山伏神楽、出羽の番楽など神楽がみられる。おもに夏祭時に、仮設の舞台や民家の座敷で行われる。常設の長床を舞台とするものもある。神祇神楽が主体で、権現様ともよばれる一人立ちの獅子舞が加わる。中世修験者と関わりが深い。また、保呂羽山には湯立をとともう霜月神楽もある。

奥州街道以北の東山道(東北)では、陸奥の法印神楽、山伏神楽、出羽の番楽など神楽がみられる。おもに夏祭時に、仮設の舞台や民家の座敷で行われる。常設の長床を舞台とするものもある。神祇神楽が主体で、権現様ともよばれる一人立ちの獅子舞が加わる。中世修験者と関わりが深い。また、保呂羽山には湯立をとともう霜月神楽もある。

するものもある。神祇神楽が主体で、権現様ともよばれる一人立ちの獅子舞が加わる。中世修験者と関わりが深い。また、保呂羽山には湯立をとともう霜月神楽もある。

## 河内地区みなさまの氏神様

河内 西宮

西宮



## 六角燈籠が奉納

〔奉納者〕 大下宣義様(上河内)

立派な六角燈籠が、拝殿奥側の八畳の天井に、河内神社相談役・大下宣義様より奉納されました。灯籠本体は金銅製、光源はLEDで、幅は1メートル35センチほどあります。

## 足跡の深さに感謝

氏子総代長 先本 民治

『柴かり、縄ない、わらじをつくり——』二宮金次郎が重荷を背負う姿を見て、今日も子供たちの歓声がこだまする学び舎。

村社の拝殿が、ウラジロの衣に似て、鎮座の神々集う本殿。伊勢神宮の遷宮古材の瑞垣に、萩の小むらさきが寄り添う頃、巫女舞奉ずる二間四方に、明かりが灯りました。六角半菱燈籠それでありました。彫金の透かしに相談役、大下宣義大兄の心であります。21年の総代長奉職の誠と敬神崇祖の灯りをいただきました。蛍光の昼光色が畳目に姿を消し、四尺五寸の輝きに变化した心であります。『ありがとうございました』

檜の杜も相談役発案の事業でありました。氏子崇敬の各位が、奉仕、奉賛の念厚き作業の汗と手になる緑深き鎮守の森と化しました。今までの御神徳の高揚に、深甚なる敬意を表したいと存じます。総代長の

表彰状



永きご奉仕に、先般、神社本庁・池田厚子総裁より名誉ある表彰の栄に浴されました。勿論我が村社初めての榮譽であり、意を同じくする者と共に祝意を顕しました。足跡の深さに改めて感謝の誠をささげ、今後とも、村社はもとより地域発展のため、御指導戴きたく存じます。育ちゆく杜と共に改めてお礼をいたします。

## 上河内神楽団の子供たち熱演

第59回広島県神社関係者大会

8月26日、県立文化芸術ホールで開催された、広島県神社関係者大会において、県内神楽の伝承と後継者育成を目的に企画された子供神楽競演会に上河内神楽団の子供たちが出演しました。



1700人もの参加者の前で、十二神祇神楽(四天王)を熱演しました。煌びやかな衣装をまとった子供たちの息の合った演技に会場から大きな歓声と拍手が送られました。



## 神社の水路への流入止まる

境内地南側仮道路横の水路に、上流から流れ込んでいた雨水などが、上流の下水道工事の完了に伴い止まりました。これにより、境内に上がる取り付け道路の設置が可能となりました。今後は、課題となっており河内神社合祀百年事業の計画の推進に取り組んでまいります。